

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語教育専攻)

学習・教育目標	<p>(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。</p> <p>(B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。</p> <p>(C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。</p> <p>(D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。</p> <p>(E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。</p>
---------	---

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S653006	天沼 実	英文法・英作文 I	聞き取りや発話の練習と有機的に関連させた英作文演習を通して、学校英文法の学習棄却と再学習・発展学習を行い、総合的な英語表現力の向上をはかる。	言葉の仕組みそのものである文法の知識は英語の学習指導や教材理解・研究のための最重要基盤である。本授業では文法を正しく理解し、効果的に運用するための基礎的な素養を深める。	・高校までの学習英文法の内容を正しく理解し、(作文において) 正確に運用することができる。 ・学習指導や教材理解・研究等の教師の視点から学習英文法について考えることができる。 ・学習英文法に基づき、より発展的な文法項目を学び、運用できる力を身に付ける。	0.6	0.0	0.2	0.2	0.0
S653006	天沼 実	英文法・英作文 II	聞き取りや発話の練習と有機的に関連させた英作文演習を通して、学校英文法の学習棄却と再学習・発展学習を行い、総合的な英語表現力の向上をはかる。	言葉の仕組みそのものである文法の知識は英語の学習指導や教材理解・研究のための最重要基盤である。本授業では文法を正しく理解し、効果的に運用するための基礎的な素養を深める。	・高校までの学習英文法の内容を正しく理解し、(作文において) 正確に運用することができる。 ・学習指導や教材理解・研究等の教師の視点から学習英文法について考えることができる。 ・学習英文法に基づき、より発展的な文法項目を学び、運用できる力を身に付ける。	0.6	0.0	0.2	0.2	0.0
	浅野 一郎	英語学基礎演習 I	英語音声学の専門書を講読し、専門知識の修得、発音記号による音声表記を学び、合わせて読解力も養う。また、英語らしい発音を身につけるために、プリント、モデルテープ等を使い発音の練習をする。	中 1、高 1 英語免許修得のために本学部で定める免許所要の必修単位である。	専門書を原書で読むことになれる。調音音声学、音響音声学の基礎知識を学び、言語音を作り出す仕組みを理解する。英語の専門家として、英語の発音習得のための正しい方法を理解する。個々の音(特に子音)を発音記号で表記できるようになる。	0.4	0.0	0.3	0.3	0.0
	浅野 一郎	英語学基礎演習 II	英語学基礎演習 I に引き続き、英語音声学の専門書を講読し、専門知識の習得、発音記号による音声表記を学び、合わせて読解力も養う。英語の発音に特有の規則性について学ぶ。引き続き、英語らしい発音を身につけるために、プリント、モデルテープ等を使い発音の練習をする。	中 1、高 1 英語免許修得のために本学部で定める免許所要の必修単位である。	原書講読の正確さがまし、音声学の知識が深まる。英語の個々の音(特に母音)を発音記号で表記できるようになる。英語の聞き取りにくさ、母語話者との発音の違いなどに関して、理論的に理解できるようになる。英語の音韻規則を理解し、自身の英語発音練習に生かせる。	0.4	0.0	0.3	0.3	0.0
S652000	ハウ エドワード	オーラルコミュニケーション演習 I	英語による発展的なオーラルコミュニケーション力の涵養のために会話や発表、リスニングなどの言語活動による練習を行う。	コミュニケーション重視の英語教育において、口頭運用能力は指導者の不可欠の素養であり、この授業はその基礎と発展を図るものである。	・日常的なことや身の回りのことをはじめとして、さまざまな話題について口頭の英語で表現したり意見を述べたりすることができる。 ・授業遂行に最低限必要なクラスルームイングリッシュを問題なく使いこなす口頭運用能力を身に付けている。	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S652000	ハウ エドワード	オーラルコミュニケーション演習Ⅱ	英語による発展的なオーラルコミュニケーション力の涵養のために会話や発表、リスニングなどの言語活動による練習を行う。	コミュニケーション重視の英語教育において、口頭運用能力は指導者の不可欠の素養であり、この授業はその基礎と発展を図るものである。	・日常的なことや身の回りのことをはじめとして、口頭運用能力は指導者の不可欠の素養であり、さまざまな話題について口頭の英語で表現したり意見を述べたりすることができる。 ・授業遂行に最低限必要なクラスルームイングリッシュを問題なく使いこなす口頭運用能力を身に付けている。	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0
S662005	ハウ エドワード	現代英語表現法演習Ⅰa	大学初中級～中級相当の英会話および英作文の複合的・総合的な英語表現（パラグラフライティング、スピーチライティング、オーラルプレゼンテーションなど）の演習を行う。	コミュニケーション重視の英語教育において、総合的な英語運用能力に長けていることは指導者の不可欠の素養である。この授業は「英文法・英作文Ⅰ・Ⅱ」及び「オーラルコミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ」を踏まえ、総合的な英語運用能力の発展を図るものである。	日常のことや身の回りのことについて不自由なく英語で表現できるだけでなく、学術的、社会的な問題や抽象的な話題などについて論理的に意見を述べ、書くことができる。	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0
S662005	ハウ エドワード	現代英語表現法演習Ⅰb	大学初中級～中級相当の英会話および英作文の複合的・総合的な英語表現（パラグラフライティング、スピーチライティング、オーラルプレゼンテーションなど）の演習を行う。	コミュニケーション重視の英語教育において、総合的な英語運用能力に長けていることは指導者の不可欠の素養である。この授業は「英文法・英作文Ⅰ・Ⅱ」及び「オーラルコミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ」を踏まえ、総合的な英語運用能力の発展を図るものである。	日常のことや身の回りのことについて不自由なく英語で表現できるだけでなく、学術的、社会的な問題や抽象的な話題などについて論理的に意見を述べ、書くことができる。	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0
S686104	ハウ エドワード	現代英語表現法演習Ⅱa	大学中級～中上級相当の英会話および英作文の複合的・総合的な英語表現（パラグラフライティング、スピーチライティング、オーラルプレゼンテーションなど）の演習を行う。	コミュニケーション重視の英語教育において、総合的な英語運用能力に長けていることは指導者の不可欠の素養である。この授業は「現代英語表現法演習Ⅰa・Ⅰb」を踏まえ、総合的な英語運用能力の更なる発展を図るものである。	・日常のことや身の回りのことについて不自由なく英語で表現できるだけでなく、学術的、社会的な問題や抽象的な話題などについて論理的に意見を述べ、書くことができる。	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0
S686282	ハウ エドワード	現代英語表現法演習Ⅱb	大学中級～中上級相当の英会話および英作文の複合的・総合的な英語表現（パラグラフライティング、スピーチライティング、オーラルプレゼンテーションなど）の演習を行う。	コミュニケーション重視の英語教育において、総合的な英語運用能力に長けていることは指導者の不可欠の素養である。この授業は「現代英語表現法演習Ⅰa・Ⅰb」を踏まえ、総合的な英語運用能力の更なる発展を図るものである。	・日常のことや身の回りのことについて不自由なく英語で表現できるだけでなく、学術的、社会的な問題や抽象的な話題などについて論理的に意見を述べ、書くことができる。	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0
S683002	天沼 実、他	現代英語総合演習	英語の終日集中訓練プログラム (Intensive Training Course of English) を受講者がTA (Teaching Assistant) となって自ら企画し、実施する。	教科である英語を活用した総合的な教育活動の主体的体験は (英語) 教員としての実践力育成の一助となる。	・プログラムの企画と実施を通して英語力、英語指導力、企画・運営力、ヒューマンスキルなどを習得または向上させる。 ・教育実習Ⅱへ向けて、教材の選択・作成、言語活動の計画・実施、指示・説明のしかたや学習者へ接し方など、言語学習指導の実践的な側面を体験的に習得する。	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S658008	高際澄雄	イギリス文化論	日本人になじみの深い国でありながら、その実情の知られていないイギリスの文化について、実態を明らかにするとともに、イギリス人とのコミュニケーションが可能となるように、イギリス文化を英語により論ずる。	イギリス文化を学ぶことで、文化の多様性について理解を深めるとともに、英語の背景文化についての知識を得る。	イギリス文化の実態を知り、イギリス人と意思疎通ができるコミュニケーション能力の基礎を身につける。	0.3	0.1	0.2	0.1	0.3
S659004	米山正文	アメリカ文化論	米国の文化や歴史を多元的観点から概観する。	米国について学ぶことで、異文化への知識や理解を深める。	米国の歴史・文化について知識と理解力を身に付ける。	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5
S650007	天沼 実	英語学演習A I	英文法など英語研究をテーマとした初歩的な原書読解演習を通じて実践的な英文法運用の訓練と英語の言語学的研究への導入をはかる。	教科「英語」に関わる免許法指定科目中の英語学・言語学関連の導入的な科目であり、言語の科学的研究に関する基礎的専門知識や方法論習得への入門にあたる	・ことばや文法をテーマとした導入的な専門文献(原書)を読むことができる。 ・言語の実態に客観的、科学的に接近しようとする態度が身についている。	0.3	0.1	0.3	0.2	0.1
S650007	天沼 実	英語学演習A II	英文法など英語研究をテーマとした初歩的な原書読解演習を通じて実践的な英文法運用の訓練と英語の言語学的研究への導入をはかる。	教科「英語」に関わる免許法指定科目中の英語学・言語学関連の導入的な科目であり、言語の科学的研究に関する基礎的専門知識や方法論習得への入門にあたる	・ことばや文法をテーマとした導入的な専門文献(原書)を読むことができる。 ・言語の実態に客観的、科学的に接近しようとする態度が身についている。	0.3	0.1	0.3	0.2	0.1
S660002	谷光生	英語学演習B I	英語学の基礎を主として演習形式で学ぶ。その際、学校文法における重要な取り扱い項目の幾つかを具体例として取り上げる。	中学校・高等学校の「英語」免許を取得するための必修科目であり、英語教育専攻の1専門分野である「英語学特殊講義A、B、C」に対する基礎的演習科目としての意義を持つ。	・英語学関連の専門文献を読む力を養う。 ・学校文法に対する批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0.4	0.2	0.2	0.2	0.0
S660002	谷光生	英語学演習B II	英語学の基礎を主として演習形式で学ぶ。その際、学校文法における重要な取り扱い項目の幾つかを具体例として取り上げる。	中学校・高等学校の「英語」免許を取得するための必修科目であり、英語教育専攻の1専門分野である「英語学特殊講義A、B、C」に対する基礎的演習科目としての意義を持つ。	・英語学関連の専門文献を読む力を養う。 ・学校文法に対する批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0.4	0.2	0.2	0.2	0.0
S654002	大野直美 (非常勤・担当 幡山秀明)	イギリス文学演習AI	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむ。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
	大野直美 (非常勤・担当 幡山秀明)	イギリス文学演習A II	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむ。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S655009	大野直美 (非常勤・担当 幡山秀明)	イギリス文学演習BI	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむ。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
	大野直美 (非常勤・担当 幡山秀明)	イギリス文学演習BII	イギリスの文学作品を取り上げる。Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。	教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う	英国文学を理解するために必要な文化・社会・歴史等の知識を得る方法を学習し、原著で作品に慣れ親しむ。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S656005	幡山秀明	アメリカ文学演習AI	中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業としてteaching plan作成からプレゼンまで行う。	教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深める。語学教育の背景としての豊かな知識を形成する。	0.3	0.3	0.1	0.2	0.1
	幡山秀明	アメリカ文学演習AII	引き続き、中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業としてteaching plan作成からプレゼンまで行う。	教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深める。語学教育の背景としての豊かな知識を形成する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S657001	幡山秀明	アメリカ文学演習BI	中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業としてteaching plan作成からプレゼンまで行う。	教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深める。語学教育の背景としての豊かな知識を形成する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
	幡山秀明	アメリカ文学演習BII	引き続き、中高の英語教科書関連する文学作品を取り上げる。「物語」「歌」「詩」「映画」「伝記」も含む)を中心に取扱いながら、Reading能力を高め、分析力や洞察力を養う。また、受講生による模擬授業としてteaching plan作成からプレゼンまで行う。	教職教育科目なので将来の英語教員の資質向上に向けた指導と実践を行う	日本の中学・高校の英語の教科書内容を吟味しながら、それに関連する英語圏文化や文学につながる事項をピックアップして、実際の授業に直接的、間接的に役立つ情報を集め、理解を深める。語学教育の背景としての豊かな知識を形成する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S663117	渡辺浩行	英語科教育法I a	英語教育の基礎知識・指導技術の基礎を学ぶ。とりわけ、英語授業における活動の展開方法、その中心となる英語でのインタラクションの仕方を授業分析をしながら学ぶ。受講対象者は教育学部生である。	英語科教員免許取得には必修の専門教育科目になる。英語教育について考察し、知識だけでなく、実際の指導技術を身につける。授業録画ビデオや外部講師(中学英語教師)などの授業実践分析、模擬授業とその振り返り、を通して指導力の基礎を養う。	「学習者中心、コミュニケーション重視の英語教育」という視点から、これまでの英語授業を見直し、英語教師として必要な指導法を考察する。その考察をもとに、できるだけミニレッスン(模擬授業)を実施・検討し、活動の構成・展開方法を掘り下げ、インタラクションに必要な英語コミュニケーション能力を養い、「学習者中心、コミュニケーション重視の英語授業」の指導技術を実践的に身につける。	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語教育専攻)

学習・教育目標	<p>(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。</p> <p>(B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。</p> <p>(C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導と説明ができる。</p> <p>(D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。</p> <p>(E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。</p>
---------	---

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S663125	渡辺浩行	英語科教育法Ⅰb	「英語科教育法Ⅰa」に引き続き、英語教育の基礎知識・指導技術の基礎を学び、その応用力も身につける。教育実習Ⅰの授業観察を活かし、授業分析、授業振り返りを丁寧に行い、模擬授業を通してさらなる指導力アップを図る。受講対象者は教育学部生である。	英語科教員免許取得には必修の「英語科教育法Ⅰa」に続く専門教育科目になる。教育実習Ⅰでの授業観察の経験を活かし、授業分析能力をさらに高めるために、録画授業分析、模擬授業の振り返りをグループディスカッションを通して徹底して行う。指導力の基礎から応用力も養う。また、公立中学英語教師からの授業の工夫の指導を受ける。	「学習者中心、コミュニケーション重視の英語教育」という視点から、英語教師として必要な指導力を考察し、習得する。授業構成、授業振り返りに欠かせない視点・観点を録画授業分析、模擬授業とその振り返りによって確実に養う。グループディスカッションを多用し、個人の気づきを共有し、継続して模擬授業を行い、指導力を向上させる。また、公立中学校英語教師から指導の工夫を学び、スモールステップを刻んだ細やかな指導技術を実践的に身につける。	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2
S664008	ハウ エドワード	英語科教育法Ⅱ	「英語科教育法Ⅰa, Ⅰb」の履修が前提の授業である。指導の基礎力の充実、応用力の養成をめざし、とりわけ、教育実習Ⅱにおける生徒への実際の指導を考慮した授業内容である。	授業案作成、(補助)教材・ワークシート作成準備、授業マネージメント、学習者へのフィードバック、授業・学習者評価等の観点から、英語授業の指導力、指導技術を緻密に練り上げ、教育実習での実践を裏打ちする授業力の養成をめざす。	・模擬授業での振り返りを中心に、特に以下の指導力・指導技術を身につける。 ・事前に用意したものにとらわれない、学習者の反応に合わせた柔軟な授業力 ・学習形態(クラス全体、個別、ペア、小グループ)の適切な選択と有効な組み合わせ ・「学習者への働きかけ」「学習者の反応へのフォロー・アップ」に必要な英語コミュニケーション能力	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2
S665004	ハウ エドワード	英語科教育法Ⅲ	「英語科教育法Ⅰa, Ⅰb」「英語科教育法Ⅱ」の履修が前提の授業である。指導の基礎力の定着、応用力の発展をめざし、教育実習Ⅱの経験を取り込んだ授業内容である。	教科「英語」の目標を確認し、カリキュラム、シラバス、単元、教材、1時間の授業内容・方法、評価、学習者、授業者をマクロとミクロの両面で考察する。その中心はあくまでも学習者であり、コミュニケーション重視である。その考察は履修者各自の教育実習Ⅱの経験を踏まえ、小グループで行う。それを模擬授業の組み立て・振り返りに生かし、一人ひとりの授業力の向上を図る。	・マクロ、ミクロの観点で英語授業への認識を深め、模擬授業に取組みながら、以下の点を身につける。 ・教科「英語」の目標に照らした、1時間の授業のあり方が展開できる。 ・授業作り、授業の振り返りにあたり、常に学習者中心、コミュニケーション重視の姿勢を保つことができる。 ・Reflective teachingの継続実践に向けた、授業分析力、授業改善力、そのための自己啓発力を養う。	0.3	0.1	0.1	0.3	0.2
	浅野 一郎	英語学特殊講義A	意味の研究には色々あるが、人間の概念構造を対象とし、中でも単語の意味特性がどのように統語構造(いわゆる文法)に反映されるかを問う語彙意味論の研究を概観する。	言語普遍的な意味概念と言語固有の統語構造の関係を対象とする研究を概観することで、英語教育に必要な人間の言語能力に関する洞察を養う。	英語学のなかで意味論が扱ってきた基本的問題が分かる。意味論を学ぶ上で必要な論理学の概念が理解できる。Jackendoffの語彙意味論の生成文法の枠組みの中での位置づけを理解できる。統語的規則性とは違った様々な意味的規則性の存在を理解し、人間の言語能力への理解が深まる。	0.5	0.0	0.4	0.0	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	浅野 一郎	英語学特殊講義B	生成文法の中での意味論の位置づけを踏まえ、意味役割理論や場所理論などの基本概念を紹介し、それらと統語構造(いわゆる文法)との関係を概観する。	言語普遍的な意味概念と言語固有の統語構造の関係を対象とする研究を概観することで、英語教育に必要な人間の言語能力に関する洞察を養う。	Jackendoffの語彙意味論を学ぶことで、人間の概念構造への認識が深まる。概念構造が英語の統語構造にどう反映されているかを学ぶことにより、日本語と違う英語の特徴を理解できる。意味役割理論に基づく英語の結果構文、二重目的語構文、中間構文の分析を学び、意味的規則性の存在が理解でき、人間の言語能力への理解が深まる。	0.5	0.0	0.4	0.0	0.1
S666108	谷光生	英語学特殊講義C	理論言語学(形態論、統語論、意味論、語用論)の基礎を講義する。主として現代英語からの具体例を用いる。	英語教育専攻の選択専門科目の一つとして、中高の英語教員に必要な理論言語学の基礎的知識を授ける。	・理論言語学の基礎的知識を養う。 ・学校文法の批判的かつ発展的知識を養う。 ・自身の言語運用を客観的に捉える。	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0
S674003	市川裕見子	イギリス文学史	古代、中世から現代にわたるイギリス文学史を概観します。	教員養成の観点から、必要な教養として、または専門の研究に必要な基礎知識として役立ててください。	イギリス文学の生成、発展、消長をイギリスの文化、歴史、社会的背景のなかに位置づけ、理解できる。イギリス文学を味わう素養を身につける。	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2
S673007	幡山秀明	アメリカ文学史	アメリカ文学史上代表的な作家と作品を精選し、その歴史的社会的意義や価値について講義する。	教員養成の観点から、英語教科書に散見する文化的・文学的情報を歴史の枠組みの中で整理し、現代社会や人間の問題を考察する。	この文学史は、文学や文化に関する様々な情報を体系的に位置付け、さらに、それを現在の社会や人間の問題を考察する糸口にしていく。アメリカの植民地時代から第二次世界大戦後、今日までを概観し、それぞれの時代の文学作品の特徴について紹介する。異文化理解のために断片的で無秩序な情報を体系的に理解する枠組みを形成する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S674003	幡山秀明	英米文学特殊講義A	アメリカ文学史上代表的な作家と作品を精選し、その歴史的社会的意義や価値について講義する。	教員養成の観点から、英語教科書に散見する文化的・文学的情報を歴史の枠組みの中で整理し、現代社会や人間の問題を考察する。	この文学史は、文学や文化に関する様々な情報を体系的に位置付け、さらに、それを現在の社会や人間の問題を考察する糸口にしていく。アメリカの植民地時代から第二次世界大戦後、今日までを概観し、それぞれの時代の文学作品の特徴について紹介する。異文化理解のために断片的で無秩序な情報を体系的に理解する枠組みを形成する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S677002	幡山秀明	英米文学特殊講義B	文学作品を読みながら、その芸術的価値について論じる。	英語による芸術作品を理解することは、英語教育に大きな力を与える。	英語の文学作品の分析と鑑賞ができることを目指す。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S679005	幡山秀明	英米文学特殊講義C	文学作品を読みながら、その芸術的価値について論じる。	英語による芸術作品を理解することは、英語教育に大きな力を与える。	英語の文学作品の分析と鑑賞ができることを目指す。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語教育専攻)

学習・教育目標	<p>(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。</p> <p>(B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。</p> <p>(C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。</p> <p>(D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。</p> <p>(E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。</p>
---------	---

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	渡辺浩行	英語科教育法特殊講義A	英語教育における教材選択・作成・使用の方法およびワークシート作成・使用について学ぶ。「英語科教育法 Ia, Ib」の履修が前提の授業である。	英語科教員としてのより高度な資質を身につける専門教育科目になる。英語教育と英語授業の目的に沿った教材選択・作成・使用およびワークシートの作成・使用について学ぶ。	検定教科書、市販教材、教師作成の教材・ワークシートを英語教育・授業の「目的」の観点で分析できる能力を培う。既存のもの選択・使用方法だけでなく、自ら作成し、それをを用いた模擬授業、振り返りを実施し、より実践的に教材、ワークシートを扱える力を身につける。	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2
	渡辺浩行	英語科教育法特殊講義B	英語教育における評価方法について、assessmentとevaluationの両面から実践的、体験的に学ぶ。「英語科教育法 Ia, Ib」の履修が前提の授業である。	英語科教員としてのより高度な資質を身につける専門教育科目になる。授業評価と学習者評価を区別し、授業改善につながる授業評価、学習の動機づけに資する学習者評価を追究する。	授業改善に必要な授業assessmentの核となるモニタリングスキル、critical reflexionに欠かせない授業分析能力を養う。併せて、学習者評価のassessmentを、「妥当性」「信頼性」「実効性」「波及効果」の4観点でできる力も養う。優れた授業評価にバランスの取れた学習者評価が不可欠であることを実践的に学ぶ。	0.2	0.1	0.1	0.4	0.2
	渡辺浩行	英語科教育法特殊講義C	英語教育における4技能の統合的活動、インプット・アウトプット・インタラクションの兼ね合い、発信力に必要な受信力、教師の発問方法について学ぶ。「英語科教育法 Ia, Ib」「英語科教育法Ⅱ、Ⅲ」の履修が前提の授業である。	英語科教員としてのより高度な資質を身につける専門教育科目になる。英語の「素地」「基礎」「4技能の統合が前提となるコミュニケーション能力」を育む指導法を探究する。そのことにより、小中高一貫性のある英語教育が展開できる力を養う。	学習者の反応(response)を引き出す教師のiniation(主に発問)能力と、学習者の反応を適切に受けとめて応えるfollow-up能力を磨く。録画授業を視聴しながら、一連のI-R-FのFがevaluative follow-upに留まるっているか、discoursal follow-upに高まっているかが分析できる力、さらに後者がresponsivenessを伴って自ら指導できる力を、徹底したreflective micro lessonsで習得できるようにする。	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2
	幡山秀明 浅野一郎 谷 光生 天沼 実 渡辺浩行	英語研究セミナーA I	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、4年次の卒業論文作成を見据え、調査・研究方法や論文作成の基本的知識・技能の学習、基本文献の講読などの演習を行う。	英語教育についての意識を高めつつ、各自の専門テーマについて卒業論文の準備をする第一段階の専門教育科目である。自ら設定する課題について当該分野の知識・技能と方法論を身に付け、解決に向けて主体的に取り組む。	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、卒業論文作成に必要な基本文献を読みこなすことができる。卒業論文作成に必要な、調査・研究方法を学ぶ。論文作成の基本的知識・技能を修得する。	0.2	0.4	0.0	0.3	0.1
	幡山秀明 浅野一郎 谷 光生 天沼 実 渡辺浩行	英語研究セミナーA II	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、「英語研究セミナーA I」を踏まえて、調査・研究や論文作成の方法などについての知識や技能を高めるとともに文献講読などの演習をすすめるとともに、卒業論文を見据えた個別の具体的な課題についても取り組みを深める。	「英語研究セミナーA I」を踏まえ、各自の課題の主体的解決に向けて専門的知識・技能と方法論の実践力を更に深める科目である。	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、卒業論文作成に必要な、調査・研究方法についての知識や技能が高まる。各自の設定する課題について、各分野の知識・技能と方法論を学ぶ。課題解決に向けて主体的に取り組めるようになる。	0.2	0.4	0.0	0.3	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (英語教育専攻)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	幡山秀明 浅野一郎 谷 光生 天沼 実 渡辺浩行	英語研究セミナーBI	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、4年次の卒業論文作成を見据え、調査・研究方法や論文作成の基本的知識・技能の学習、基本文献の講読などの演習を行う。	英語教育についての意識を高めつつ、各自の専門テーマについて卒業論文の準備をする第一段階の専門教育科目である。自ら設定する課題について各分野の知識・技能と方法論を身に付け、解決に向けて主体的に取り組む。	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、卒業論文作成に必要な基本文献を読みこなすことができる。卒業論文作成に必要な、調査・研究方法を学ぶ。論文作成の基本的知識・技能を修得する。	0.2	0.4	0.0	0.3	0.1
	幡山秀明 浅野一郎 谷 光生 天沼 実 渡辺浩行	英語研究セミナーBII	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、「英語研究セミナーBI」を踏まえて、調査・研究や論文作成の方法などについての知識や技能を高めるとともに文献講読などの演習をすすめるとともに、卒業論文を見据えた個別の具体的な課題についても取り組みを深める。	「英語研究セミナーBI」を踏まえ、各自の課題の主体的解決に向けて専門の知識・技能と方法論の実践力を更に深める科目である。	英語学、英米文学、英語科教育の各分野において、卒業論文作成に必要な、調査・研究方法についての知識や技能が高まる。各自の設定する課題について、各分野の知識・技能と方法論を学ぶ。課題解決に向けて主体的に取り組めるようになる。	0.2	0.4	0.0	0.3	0.1
S699006	幡山秀明 浅野一郎 谷 光生 天沼 実 渡辺浩行	英語教育専攻卒業論文 →卒業論文	英語科教育学、英米文学、英語学を主な分野として、卒業研究の主題や計画に応じ、文献講読や課題演習、研究発表などを通じた研究・論文作成指導を行う。	英語教育専攻に関わる教職・教科の知識・技能、専攻専門分野の理解・探究などの統合を図る。	主として英語科教育学、英米文学、英語学の各分野のなかから、卒論の主題となる課題を見つけることができる。自ら設定した課題の解決に向けて必要な、調査・研究方法を修得する。自らの課題とその解決に向けての調査・研究の過程・結果を論文にまとめることができる。	0.1	0.3	0.0	0.6	0.0